

今年度の取組

教育目標 「命を輝かす人間」

- めざす児童・生徒像** 「自ら学び学習する児童・生徒」 「思いやりのある児童・生徒」
「たくましく生きる児童・生徒」 「健康や安全を考える児童・生徒」

昨年度の成果と課題

- 本ブロック児童・生徒の実態を踏まえ、授業や指導を通した小中合同の研究・取組を進めることができた。
- 様々な形式での児童・生徒交流や地域・家庭連携のための情報発信・取組を積極的に進めることができた。
- ブロック校長会議・ブロック教頭会議のリーダーシップのもと、コーディネーター会議で調整を図りながら、様々な取組を推進することができた。
- 児童・生徒の学力課題や生活課題を一層明確にし、小中一貫教育の視点で、課題解決に向けた取組を進める必要がある。そのために、学力の充実・向上にウエイトを置いた取組が展開できる組織に改編する。

今年度の重点

- 小中一貫教育実施6年間の成果と課題を踏まえた取組を推進しながら、小中一貫教育の基本である「義務教育9年間で、将来にわたって生きて働く学力や生きる力を身に付けさせるための系統的・統一的な指導を実現する」という視点で、日々の指導の充実を図りながら、取組の点検・評価・改善を進める。
- 「ブロック校長会議」の指導のもと、「ブロック教頭会議」を核とした「ブロック運営委員会」を推進の要とした推進組織体制を確立し、「コーディネーター会議」や「推進3部会」、合同研究授業に向けた「授業研究部会」で、様々な取組を具現化し、ブロックの小中一貫教育を推進する。
- 授業公開・合同研究授業を通して、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善を積極的に進める。その中に、ことばの力や国語力を高める視点を加え、日常の授業や家庭学習、小中一貫教育の様々な取組と関連させ、児童生徒の「主体的・協働的に学ぶ力」を高めながら、生きて働く学力や生きる力の充実・向上を図る。
- 地域ぐるみで児童生徒を育て、高める視点を持ち、地域・PTA(育友会)行事への参画や家庭・地域への情報発信、連携強化を積極的に進める。

教職員研修

- 小中合同研修会(5/29・8/22・11/13)
- 小中合同研究授業(11/13 会場:三室戸小)
- 相互授業参観
 - ・小学校から中学校授業参観(5/29)
 - ・中学校から小学校授業参観(6/28)
- 教職員広報の発行
- 4校学校便りを教職員へ配布
- 3小合同研修会+合同学年会(8/22)
- 中学1年ふりスタへの小学校教員支援
- 東宇治中ブロック児童生徒の学力分析

児童・生徒交流

- 小学6年生の中学校体験入学(11/6)
- 中学2年生の小学校での職場体験(6/6・7)
- 児童会・生徒会協同の取組
- 中学生の美術作品巡回展示(2学期)
- 花植ボランティアによるプランター贈呈
- 地域行事での交流

家庭・地域との連携

- 小中一貫教育便りの発行
- 「家庭学習の手引き」(保存版)の配布
- PTA・育友会 保護者合同研修会(2学期)
- 小中一貫教育コーナー(掲示板)の設置
- 小中一貫教育リーフレットの配布(小学1年・転入生)
- 「おおばくまつり」(東宇治ふれあいネット)

小中スムーズな接続のために

- スクールライフサポートブック配布(小学6年)
- 先スタ(中学入学前の学習)の配布(小学6年)
- 小学6年生の中学校体験入学(11/6)
- 小中連携教員による外国語活動指導(小学6年)
- 東宇治中入学保護者説明会(12/3)
- 小中連絡会(5/13・12月・2月)
- 中学学校便りを小学6年生に配布
- 授業スタンダードの積極的活用
- 定期テスト対策(小学6年)
- 「宇治学」カリキュラムの検討

学力の充実・向上 児童生徒に「主体的・協働的に学ぶ力」を高め、生きて働く学力、生きる力を身に付けるために

- 授業充実のための相互授業参観・合同研究授業(ことばの力・国語力の向上)・授業スタンダードの活用
- 中1京都府学力診断テストを中心とした学力分析を小・中学校の授業改善に活用
- ふりスタ・先スタ・定期テスト対策(小6)による小中の接続強化
- 家庭学習の手引き・スクールライフサポートブックによる家庭学習習慣・生活習慣の確立
- 各校のアクションプランと連動させた学力の充実・向上の取組の展開